

本日は、二十歳を迎える私たちの門出に対し、このような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。

今日という日を迎えられたのは、今まで私たちを育ててくれた家族はもちろん、お世話になった先生方いつも温かく見守ってくださった地域の皆様、友人達のおかげです。また桑名市長様を始めご臨席の皆様にご心より感謝申し上げます。

この二十年を振り返ると、沢山の思い出に溢れています。辛い事、楽しい事、一生懸命になったことなど数え切れないほどあります。

そして新型コロナウイルスの影響も沢山受けてきました。私は地元から離れた高校に通っていた為、友達も家族もいない、知らない土地で不安の中、入学式を迎えました。ですが、入学後すぐに休校になり、外に出ることすら制限されるような世の中でした。休校が明けてもマスク生活、行事ごとの縮小・中止、クラスターによる学級閉鎖の繰り返しでした。正直またかという怒りや、これから先の不安、青春時代を失われていく張り合いのない気持ちでした。実際失ったものは多いですが、超えるくらいに大切な思い出や楽しかった事の記憶の方が多くあります。それは制限の中でも自分達で考え、工夫して充実した生活を送ってきたからだと思います。

コロナが落ち着き、この会場で今このようにマスクを外してみんなで集まれていることは、きっとあの時の苦しみを乗り越えたからこそだと思います。これから先乗り越えていけないといけないことは沢山あることでしょう。そんな時でも、「諦めない心を持ち、一歩一歩前に進んでいけば必ずいい事が待っている。」そう信じて歩み続けたいと思います。

さて、最後になりますが、皆さん大切にしていることはありますか。私は、感謝の気持ちを常に口にして伝えることを大切にしています。きっかけとして私は、数年前大好きな兄を亡くしました。直接、感謝の気持ちを伝える事ができないままお別れになりました。このことはずっと私の中で後悔し続けることです。

だからこそ皆さんこの節目をきっかけに、日頃お世話になってる人に感謝の気持ちを口にして伝えてみてください。兄の死をきっかけに私自身も自分を見失うことがあり、なんのために思うことがありました。でも、今こうして皆さんの代表としてスピーチをさせていただいているのは、周りの方々の支え、家族の存在、天国から見守ってくれている兄がいるからです。本当に感謝しています。今関わってくださっている方々との縁や繋がり、そしてこれからの出会いは私にとって宝物であり、一生大事にしていきたいです。

私たちは二十歳という人生で大きな節目を迎えましたが、まだまだ未熟者です。どうかこれからも温かい目でご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。そして二十歳として責任ある行動に努めることをお約束し、誓いの言葉と致します。